



学校だより

11月号(第551号)
令和3年10月29日
横浜市立すみれが丘小学校

学校教育目標

〈すすんで みんなで れいをつくして がんばりつづけて おもいあって ががやきつづけるすみれっ子〉
～豊かな人間関係の中で、一人ひとりが自分のよさを十分に発揮し、互いに高め合う子を育てます～

「始まり」「終わり」「無限」

副校長 山田 和仁

10月は、8日に前期の終業式、11日に後期の始業式がありました。学校生活では「始まり」と「終わり」はとても大切な意味をもっています。式では「開式のことば」で始まり、「閉式のことば」で終わります。日々の生活でも、登校時に「おはようございます」、下校時に「さようなら」のあいさつをします。また毎時間の授業では、「めあて」で始まり、「まとめ」で終わります。子どもたちには、気持ちの切替えをしてけじめをつけ、授業に集中して臨めるように指導しています。

毎朝夕、施設の点検と施錠のため校内を巡回していますが、理科室前に興味深い教材ニュースがありました。「日本列島7億年」というテーマの日本列島の形成についてのものですが、日本列島は7億年前に形成された



▲理科室前の様子

そうです。地球ができたのが46億年前だそうですので、ずいぶん後になってできたのだなということがわかりました。始まりがあれば終わりがあるのかなと最後まで見てみると、5千万年後に日本列島は他の大陸にはさまれてなくなってしまうそうです。なんだかちょっと寂しい気がします。もうひとつ宇宙についてのニュースがありました。実は子どもの頃から宇宙に興味があり、小学生の頃よくプラネタリウムに通っていました。大人になってからも相対性理論や時空とは何かなど、いろいろと本を読んでいます。宇宙の始まりについてはビッグバン理論というものが知られています。138億年前に始まってから急激に膨張しながら現在も宇宙は広がっているそうです。宇宙に終わりはあるのか無限なのか大きな謎ですが、最新の研究では無限でなく何らかの形で私たちの宇宙は終わりを迎えると考えられています。謎が解明される日がくるのかは未来の科学者に期待したいと思います。

宇宙というと、子どもの頃に好きだったアニメのことが思い出されます。松本零士さんの「銀河鉄道999」というSFアニメで、永遠の命をもつ機械の体を手にいれるために宇宙旅行をする星野鉄郎という主人公が成長していく物語です。たくさんの人と出会い、人間らしい生き方を経験していく中、物語の終盤で鉄郎は確信します。永遠の命が素晴らしいのではなく、限りある命ゆえに一生懸命に生きていくことが尊いのではないかと。人類の永遠のテーマとでもいうべき作者のメッセージについて自分自身で考えたのはだいぶ後でしたが、子どもの頃にこのアニメに出会えてよかったと思います。

10月に入って通常授業が再開となり、子どもたちは毎日元気に登校して切磋琢磨しながら学校での活動に励んでいます。保護者や地域の皆様には、これまで多大なるご理解・ご協力をいただきまして心より感謝申し上げます。これからもご支援のほどよろしく願いいたします。